

－はじめに－

昨今、急速なグローバル化や人口知能の飛躍的な進化等により、将来の予測が困難な時代を迎え、子どもを取り巻く状況も、増々複雑化しております。安全に安心して子どもを育てていくために、地域と学校が連携・協働して幅広く地域住民等の協力を得て、社会総掛かりでの教育の実現を図ることが求められています。その中で、子どもたちが他者との協働により社会を取り巻く課題を見つけ、解決する力を育むことが大切であります。

また、来年度から順次実施される新学習指導要領の目指すものとして、「社会に関われた教育課程」の実現が謳われています。これは、家庭や地域と連携しながら、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成するというものです。

そのような中、本県におきましても、今年度から5年間の教育の方針と施策の体系を示す「滋賀の教育大綱（第3期滋賀県教育振興基本計画）」を策定したところであり、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げております。この基本目標の達成に向けた大きな柱の1つとして「社会全体で支え合い、子どもを育む」を掲げ、「家庭や地域と学校との連携・協働活動の充実」を図るために、「持続可能な地域学校協働活動の展開」と「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入推進」を図ることを盛り込んでいます。

地域学校協働活動と学校運営協議会は、それぞれが持つ役割を十分に機能させ、一体的な推進を図ることで相乗効果を発揮し、地域の教育力の向上と学校運営の改善に結びつけることが期待されます。このため今年度も「学校を核とした地域力強化プラン事業」として「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」、さらに「家庭教育支援」の3つを総合的に推進し、県全体での展開を目指してまいりました。

本実践事例集は、地域全体で学びあい支えあう仕組みづくりの推進に資するものとして、各市町の工夫や努力によって取り組まれた実践をまとめたものです。県内の取組を参考に、事業の更なる拡充に取り組んでいただければと存じます。また、今後、地域と学校の連携・協働体制の構築を目指される市町におかれましては、本実践事例集を参考にいただければ幸いです。

最後になりましたが、日頃より地域において本事業をはじめ、「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」「地域づくり」に献身的に取り組まれている関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も引き続き御支援のほどお願いいたします。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報提供や寄稿をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

令和2年（2020年）3月

滋賀県教育委員会事務局
生涯学習課長 合田 遼